

試験依頼番号：2020D-BT-0846

## 試 験 検 査 報 告 書

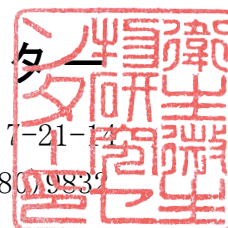
試験依頼者： ファーストメンテ株式会社  
検 体： 本報告書中に記載  
試験項目： 除菌試験  
試験責任者： 李 新一

2020年09月25日、当センターに提供された検体について行った  
試験結果は次のとおりです。

2020年10月15日

衛生微生物研究センター

〒125-0062 東京都葛飾区青戸 7-21-14  
TEL 03(5680)9831 FAX 03(5680)9832



本報告書の転載につきましては当センターに事前にご連絡ください。

## 除菌試験

### 1. 試験目的

第十七改正日本薬局方参考情報の消毒剤の評価法を参考とし、検体の除菌効果を調べる。

### 2. 検体

ソフト酸性水                      1点

### 3. 試験菌

*Staphylococcus aureus* (黄色ブドウ球菌)                      NBRC 13276

*Escherichia coli* (大腸菌)    NBRC 3972

*Escherichia coli* 0157:H7 (大腸菌)                                      JCM 18426

### 4. 試験方法

#### 4-1) 試験菌液の調製

試験菌を普通寒天培地に接種し、30～35℃で24時間培養後、生理食塩水を用いて菌数が $10^8$  CFU/mLになるように調製したものを試験菌液とした。

#### 4-2) 試験試料の調製

検体を試験管に10 mL分注したものを試験試料とした。

#### 4-3) 試験菌液の接種および培養

試験試料に試験菌液を 0.1 mL 接種し、20～25℃で静置した。

#### 4-4) 生菌数測定

接種 15 秒後に、試験試料の 10 倍希釈系列をレシチン・ポリソルベート 80 添加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト液体培地で調製したものを試験液とした。これら試験液をレシチン・ポリソルベート 80 添加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト寒天培地に接種し、30～35℃で 48～72 時間培養した。

培養後、形成された集落をカウントし、生菌数を算出した。

また、滅菌リン酸緩衝生理食塩水をコントロールとし、同様に試験を行った。

## 5. 試験結果

検体の除菌試験結果を表 1～3 に示した。

表 1. 検体の *Staphylococcus aureus* に対する除菌試験成績

試験試料	初発菌数 (CFU/mL)	生菌数 (CFU/mL)	
		15 秒後	
		平均値	各測定値
ソフト酸性水	$2.2 \times 10^6$	$< 10^1$	$< 10^1$ $< 10^1$ $< 10^1$
コントロール	$2.2 \times 10^6$	$1.7 \times 10^6$	$1.7 \times 10^6$

コントロール：リン酸緩衝生理食塩水、  
 $< 10^1$ ：培養により菌が検出されない ( $< 10$  CFU/mL)。

表 2. 検体の *Escherichia coli* に対する除菌試験成績

試験試料	初発菌数 (CFU/mL)	生菌数 (CFU/mL)	
		15 秒後	
		平均値	各測定値
ソフト酸性水	$4.8 \times 10^6$	$< 10^1$	$< 10^1$ $< 10^1$ $< 10^1$
コントロール	$4.8 \times 10^6$	$4.3 \times 10^6$	$4.3 \times 10^6$

コントロール：リン酸緩衝生理食塩水、  
 $< 10^1$ ：培養により菌が検出されない ( $< 10$  CFU/mL)。

表 3. 検体の *Escherichia coli* 0157:H7 に対する除菌試験成績

試験試料	初発菌数 (CFU/mL)	生菌数 (CFU/mL)	
		15 秒後	
		平均値	各測定値
ソフト酸性水	$2.1 \times 10^6$	$< 10^1$	$< 10^1$
			$< 10^1$
			$< 10^1$
コントロール	$2.1 \times 10^6$	$2.9 \times 10^6$	$2.9 \times 10^6$

コントロール：リン酸緩衝生理食塩水、  
 $< 10^1$ ：培養により菌が検出されない ( $< 10$  CFU/mL)。

以 上